

文化協會 之正女

NO.72

令和6(2024)年8月

編集・発行

愛媛県文化協会

松山市一番町4丁目4-2

TEL 089-947-5480

題字／鴻池樂齋





など、様々な不安
する世界情勢
らには緊迫化
した地震、さ
度6弱を記録
月に本県で震
登半島地震や4
さて、今年1月の能

愛媛県におかれましては、日頃から
当協会の活動にご理解をいただくと
もに、会員団体の育成や活動に格別
ご支援をいただいております。この席をお
借りして、改めて感謝申し上げます。

会長あいさつ

愛媛県文化協会会長 市村公子



定期総会

令和6年5月9日(木) 10:30 ~
愛媛県県民文化会館 真珠の間

や困難に直面している中、人々の心を
豊かにし、安らぎをもたらす文化の役
割がますます重要になっていきます。

こうした中で、当協会におきまして
は、県民総合文化祭の開催に加え、「地
域子ども文化体験教室事業」や「伝統
文化未来づくり事業」などを通して、
文化の活性化や次世代の担い手育成を
進めて参りました。

今後とも、協会の充実・発展を図つ
て参りますとともに、本県文化のさら
なる振興に取り組んで参りますので、
会員の皆様のご支援・ご協力をよろし
くお願い申し上げます。

総会の概要

今年度の定期総会は、会員団体代表
者など約80名が出席して開催いたしま
した。

会長挨拶に続いて、愛媛県観光ス
ポーツ文化部長の森居基修様か
ら、中村時広愛媛県知事のご祝辞をい
ただき、今年度の地域文化功労賞並び
に奨励賞の表彰式を執り行った後、議
事に入りました。



総会の様子

① 令和5年度事業報告及び 収支決算(案)

令和5年度の事業実績として、機関
紙の発行、県民総合文化祭開催、地域
子ども文化体験教室事業や伝統文化未
来づくり事業の実施、地域文化功労賞
などの顕彰事業、国民文化祭出演団体
募集に係る周知や創立30周年記念事業
などを報告するとともに、収支決算案
が承認されました。

② 令和6年度事業計画(案) 及び収支予算(案)

今年度の事業計画として、機関紙の

目次

令和6年度定期総会及び交流会	2・3	助成金事業の紹介／吟行ナビえひめ	11
第27回地域文化功労賞・奨励賞 受賞者の横顔	4・5	わが町の博物館：四国鉄道文化館	12
令和6年度地域子ども文化体験教室	5	わが町の伝統文化：清水五ツ鹿踊り	13
活動紹介：愛媛ジュニアバレエ連盟	6	文化イベント情報	14・15
活動紹介：虎造節保存会	7	筆のままに／受賞のご紹介／賛助会員のご紹介・募集／ 編集後記	16
県民総合文化祭開催案内	8・9		
活動紹介：伊予市文化協会	10		

【表紙紹介】表紙の作品は、第72回春季県展出品作品です。

左上から順に、腕を組む(岡敏夫：彫刻)、霊峰石鎚の夜明け(上岩静雄：写真)、美人蕉(カンナの花)(本多高陽：書道)、再生の刻(永廣武都子：
工芸)、わくわく、どきどき(上迫博幸：洋画)、森の大樹(曾根すず子：日本画)、汪中詩(新居田玉濤：書道)、収穫(佐伯孝昭：版画)、卓上(杉
山日典子：洋画)、今治市合併20周年(上松伸行：デザイン) 以上10名の愛媛県美術会の皆様の作品です。(敬称略)

◆令和6年度収支予算

収入の部 (単位 円)	
科目	予算額
前年度繰越金	2,057,389
会費	1,990,000
賛助会費	360,000
県民総合文化祭委託料	28,957,000
雑収入	56
計	33,364,445

支出の部 (単位 円)	
科目	予算額
一般管理費	350,000
会議費	580,000
交流事業費	100,000
広報事業費	740,000
顕彰事業費	200,000
県民総合文化祭事業費	28,957,000
地域子ども文化体験教室事業費	310,000
伝統文化未来づくり事業費	395,000
予備費	1,732,445
計	33,364,445

◆令和5年度収支決算

収入の部 (単位 円)	
科目	決算額
前年度繰越金	1,637,447
会費	1,990,000
賛助会費	360,000
県民総合文化祭委託料	28,004,997
30周年記念事業収入	591,800
雑収入	49
計	32,584,293

支出の部 (単位 円)	
科目	決算額
一般管理費	219,756
会議費	317,798
交流事業費	0
広報事業費	795,039
顕彰事業費	261,393
県民総合文化祭事業費	28,004,997
地域子ども文化体験教室事業費	367,460
伝統文化未来づくり事業費	230,900
30周年記念事業費	329,561
予備費	0
計	30,526,904

発行、県民総合文化祭の開催、地域子ども文化体験教室事業の開催、伝統文化未来づくり事業、顕彰事業の実施、

国民文化祭出演団体募集に係る周知の実施などが、収支予算案とともに承認されました。



交流会の様子

交流会

令和6年5月9日(木)
11:45 ~ 13:15
愛媛県県民文化会館
真珠の間



また、当協会の補助を受け、「地域子ども文化体験教室事業」を実施した今治市・宇和島市・西条市・内子町それぞれ事業の様子について事務局から報告いたしました。

定期総会に引き続き、会員相互の親睦を図るため、5年ぶりに交流会を実施しました。
久しぶりの開催となった交流会では、会員皆様の話も弾み、昼食を取りながら、親睦を深められていました。



交流会の様子

第27回地域文化功労賞・奨励賞 受賞者の横顔

愛媛県文化協会の今年度の地域文化功労賞及び奨励賞受賞者を決定し、定期総会にて表彰を行いました。

地域文化功労賞は、地域文化の振興に功績のあった個人又は団体に、また奨励賞は、若手の文化活動実践者として、将来、より一層の活躍が期待される個人又は団体に贈るものです。

ここに受賞者の皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

※役職は受賞時のものです。

地域文化功労賞



今治市文化協会
青井 ミヨ子さん
[雅号/春宵]

役職／(元)池坊今治支部長

(元)今治文化協会 常任理事

昭和35年に華道家元池坊入門後、長年に渡り、県内外の花展出瓶のほか、今治地域での行事に合わせた花展を開催するなど華道の普及発展に尽力されました。また、地域の各施設や、文化庁委託事業「伝統文化子ども教室」の実施等、後進の育成にも貢献されました。

受賞コメント

この度は栄えある表彰を賜り身に余る光栄でございます。長年地域に根差した華道をモットーに、多くの方々のお力添えを頂き精進することができましたこと、感謝の気持ち一杯です。この栄誉を胸に体力の続く限り後進の指導育成に努めて参ります。

地域文化功労賞



西条市文化協会
こまつさんそうかい
小松山草会

西条市内公民館での「山草苔玉作り」指導および講習会や山野草の写真展示を主な活動として行ない、全国規模の月刊誌にて過去3回の入選実績があります。また、地元小学校児童に七草がゆの由来・七草の説明、七草がゆ作りの指導など多世代間交流にも貢献されました。

受賞コメント

小松山草会設立45周年。併せて「山草展示会」も記念すべき40回を迎えた節目の年に、貴会より名誉ある「地域文化功労賞」を頂き、会員一同無上の喜びです。各々の努力が実を結び、また、地域の方々と共に育んできた山野草への愛情あってこそその日々を大切に思い、感謝しつつ、今後も楽しく頑張ります。

奨励賞



愛媛ジュニアバレエ連盟
わたなべ たいら
渡辺 平さん

8歳より美佳バレエスクールに入所し、国内・国外のバレエコンクールにて優秀な成績を修められました。プロを目指す若手ダンサーのためのコンクールでは、コンテンポラリー、クラシック男性の両部門で第1位を獲得し、英国ロイヤルバレエスクールの年間スカラシップを取得し、現在、英国ロイヤルバレエスクールに留学されています。

受賞コメント

この度このような素晴らしい賞を受賞させていただきますこと、とても光栄に思います。これまで支えて下さいました恩師、家族、友人の皆さまへ心より感謝申し上げます。これからも努力を重ね、志を高く日々精進して参りたいと思います。

令和6年度 地域こども文化体験教室

平成25年度より実施している「地域こども文化体験教室」を今年度も実施します。今年度は、西条市文化協会・内子町文化協会・今治市文化協会・宇和島市文化協会において実施予定ですので、ぜひご参加ください。

……………教室の内容(予定)……………

西条市文化協会

日時：令和6年11月9日(土)
場所：西条市小松公民館
内容：苔玉作り(山草)、フラワーアレンジメント、
絵画、詩吟

内子町文化協会

日時：令和6年10月5日(土)
場所：内子町共生館
内容：剣詩舞、日本舞踊、押し花、手芸、版画、茶道、生け花、
クラフトバンド、将棋、絵画、よさこい鳴子と玉すだれ

今治市文化協会

日時：令和6年8月25日(日)
場所：今治めぐみ幼稚園、今治市河野美術館
内容：親子煎茶教室、チャリティー茶会
参加費：練習参加料1回250円、茶券1枚700円

宇和島市文化協会①

日時：令和6年5月、11月
場所：きさいや広場市民ギャラリー
内容：箏・十七弦

宇和島市文化協会②

日時：令和6年4月～令和7年3月(月に1、2回)
場所：もみの木
内容：箏
参加費：箏爪代(初回のみ)



令和7年度 地域文化功労賞 及び奨励賞の 受賞候補者及び団体 推薦のお願い

令和7年度においても、文化協会において愛媛の文化芸術発展のために多大な功績のあった個人又は団体、また、今後の愛媛文化の担い手として期待されている個人又は団体を顕彰することとしております。

別途、文化協会各会員団体の事務局に、候補者の推薦を依頼させていただきますので、各賞の受賞にふさわしい候補者及び団体を、積極的に推薦いただきますようお願いいたします。

〈地域文化功労賞〉

- 対象／
 - ①団体活動部門(個人)
多年にわたり文化団体活動に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績のあった個人
 - ②分野活動部門(個人)
永年にわたり地域の文化活動に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績のあった個人
 - ③功労団体部門(団体)
永年にわたり文化団体として積極的に活動し、地域文化の振興に顕著な功績のあった団体
- 推薦者／会員団体
- 推薦数／上限なし

〈奨励賞〉

- 対象／優れた芸術作品の創作、又は芸術性の高い技能の発揮、若しくはその指導により将来を期待できる個人又は団体
- 推薦者／役員及び会員団体
- 推薦数／個人1名、団体1団体
- 提出物／推薦調書
(書式は事務局まで)
- 提出先／県文化協会事務局
- 提出期限／令和6年11月29日(金)
- 問合せ先／本紙裏面を参照

舞台を通じて愛媛県の芸術文化の普及振興に努める
愛媛ジュニアバレエ連盟
 愛媛ジュニアバレエ連盟 山本康介

愛媛ジュニアバレエ連盟は平成26年5月に発足してから今年でちょうど10年という節目の年を迎えました。県内のバレエスクール事業者、バレエ教師、ダンサー達が集いバレエ教育向上のための情報・意見交換、国内外で活躍されている現役アーティストを招いての講習会を重ね、現在15団体20名の会員で活動しております。コロナ禍の影響によりこの数年は連盟としての活動の機会を失われてしまい、今年より新たに活動を再開出来ることを楽しみにいたしているところです。

当連盟では個人のバレエスクール単位では実現の難しい、地域参加共同型の活動を目指しクラシックバレエの魅力を身近に感じ、ご自身で踊ったり、舞台鑑賞をしたりと一人でも多くの方に参加していただけることを願っております。



私たちはこんな団体です

クラシックバレエは日本でも100年以上の長い歴史がありますが、まだまだ技術面、芸術面の両方において海外と比べると大きな格差があります。当連盟では、勉強の場を設け技術面だけではなく内側からの向上も大きな目的としています。国内外で活躍されている現役ダンサー（第1回…小林十市、第2回…小野絢子、第3回…倉永美沙、第4回…ヴィスラフ・デュデック）をお招きし、山本康介会長自らも講習会を開催いたしました。講習会を通じて受講生たちは親交を深め、若いダンサーたちやバレエスクール事業者・バレエ教師の皆さまの交流の場となっております。

10年間を振り返って

愛媛ジュニアバレエ連盟設立当初から開催しております講習会の成果により、各バレエスクールでのレッスン内容の充実向上が見られ、愛媛県だけではなく山口県や高知県他、中四国地区のバレエスクールからもたくさんの方々にご参加いただいております。



平成30年度県民総合文化祭バレエ公演

ただいております。

バレエ公演につきましては2018年に愛媛県民総合文化祭の一環として第2回愛媛ジュニアバレエ連盟バレエ公演を開催いたしました。その後は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響によりマスクを着用してのレッスン、ソーシャルディスタンス、移動制限などバレエ公演を開催する上でとても大切なコミュニケーションが失われてしまった上、感染予防対策を徹底することが極めて困難で

あつたため、出演者及びご来場者の皆様の安全を最優先に考えその後のバレエ公演の開催は中止させていただきました。

この数年間の厳しい状況下でもバレエ芸術の灯火を絶やすことなく、これからの未来ある子どもたちへ繋げてまいりました。

これからも、舞台を通じて愛媛県内の芸術文化団体と良い関係を築き、愛媛県の芸術文化振興に、より一層努めてまいります。

虎造節保存会

虎造節保存会事務局

浪曲と虎造節

浪曲は、明治から昭和にかけておよそ百二十年間にわたって人気のあった芸能で、節のついた語り物である。三味線の演奏とともに複数の登場人物を語り分ける独り芝居で、語り手を浪曲師と呼び、三味線弾きを曲師と呼ぶ。昭和三十年代にテレビの登場などもあり、浪曲は衰退の途をたどり、今や浪曲師も曲師も激減している。

その浪曲史の中で頂点に輝くのが二代目廣澤虎造である。虎造は大正から昭和にかけて活躍し、

「虎造節」と呼ばれるその独特の節回しは、多くの聴衆を魅了した。昭和二十七年には、芸能人の人気投票で、あの美空ひばりを抑えて一位になっている。「馬鹿は死ななきゃなおらない」や「寿司食いねえ」の有名なフレーズは、虎造が最も得意とした演目の中に出てくる台詞である。昭和三十九年に六十五歳で病没し、



全国大会 記念写真

没後六十年が経ったが、浪曲を愛好し虎造節を懐かしむ人は今なお多い。

虎造節保存会創立十五年

浪曲史には数千人の浪曲師の名が残っているが、浪曲師個人の保存会があるのは二代目廣澤虎造のみである。

虎造の浪曲は「話芸の至宝」と評されているが、それは何故だろうか。話芸に大事な要素として、発声の仕方、抑揚、間の取り方、登場人物の演じ分けがある。分析すればせいぜいそれくらいのことだが、それらのいずれにも虎造独自の秘密がある。保存会では、聴いて楽しむのみならず、その話芸を実際に語り唸って勘所を掴もうとしている。名人芸にやすやすとは近づけないが、会員相互の研鑽の中で、虎造節の一端を覗き掴みつつある。

材を全国から発掘するために、保存会設立当初より全国大会を開催している。第一回から第十回までは、日本で唯一の浪曲の小屋である東京・浅草の木馬亭で開催した。

今年、第十一回の大会は初めて愛媛で開催し、松山市在住の吉川正紀子さん八十八歳が優勝した。吉川さんは浪曲歴わずか三年余りだが、長年カラオケで鍛えた喉で全国大会に挑戦し、二度目の出場場で栄冠を得た。大会史上、初の女性の優勝、最高齢での優勝となった。



第11回虎造節全国大会優勝 吉川正紀子さん(88歳)

いて、今後の虎造節普及の一つの有効な方法となりつつある。

SPレコード音源の聞き起し

虎造の音源の聞き起しを進めており、これまでに九十演目を文字に書き起こして資料として整備している。

虎造節で地域貢献

虎造節保存会の活動は日本で唯一である。今後ますます精進をして虎造節を極め、「虎造節を聴くなら愛媛よ」と言っていただけの会を目指している。虎造節と観光が繋がって、地域の振興に役立つような会になれるよう日々奮闘中である。

会員募集

九十歳代で入会し、虎造節を始めた方も活躍されている。虎造節を始めるのに年齢は関係ありません。浪曲が好き、虎造節を唸ってみたい方は、是非ご連絡ください。

虎造節保存会事務局

電話090-8287-1390

浪曲には、朗読、ナレーション、歌、落語、講談など、声を使う文芸、芸能の要素が全て入っている。浪曲、虎造節を学ぶことは、それらの力量を伸ばすことにもつながると実感する。

虎造節全国大会

虎造節を継承できる人

全国大会優勝者らが出演する名演会も、今年で第八回となる。今年も、東京・浅草の木馬亭で十一月九日に開催する。

愛媛公演

虎造節保存会の会員全員による公演会である。今年で第十一回となり、松山市民会館で開催している。

曲師の養成

一般社団法人日本浪曲協会の伊丹明先生の御指導のもと、曲師の養成をしており、現在四名の会員が修練中である。

虎造節練習会と指導

毎月、二つのグループに分かれて練習会を実施している。この定例会に参加できない県内外の会員には、電話によるリモート指導をしている。わずか数か月で人前で唸れるほどの実力をつける会員も



曲師指導 (伊丹明先生と八木健)



令和6年度 県民総合文化祭

～継承と創造 文化がつなぐ時～



県HP



Instagram

令和6年度 県民総合文化祭 文芸作品募集のお知らせ

【俳句大会】令和6年11月4日(月・振休)

- 応募数：一人2句以内(当季雑詠、未発表の作品に限る)
- 応募方法：規定のはがき(はがき請求は下記へ。コピー可)又は官製ハガキに、作品2句・住所・氏名・電話番号・所属結社を明記。(高校生は学校名と学年を明記のこと)
- 募集締切：令和6年9月10日(火)〔必着〕
- 応募料：無料
- 応募先：〒791-1106 松山市今在家1-6-32 松本勇二方 愛媛県俳句協会事務局あて(TEL 089-958-6417)

【川柳大会】令和6年10月27日(日)

- 応募数：各題2句(未発表の作品に限る)
題：「ハラスメント」「点」(共選)
- 応募方法：所定の用紙(コピー可)を使用
- 募集締切：令和6年10月7日(月)〔当日消印有効〕
- 応募料：1,000円(発表誌贈呈) 郵便小為替同封
- 応募先：〒791-3133 伊予郡松前町昌農内324-4 岡山フジエ方 令和6年度県民総合文化祭川柳大会係あて

【ジュニアの部(小・中学生)】

- 応募数：各題2句(未発表の作品に限る)
題：「さらさら」「目」「とぶ」
- 応募方法：所定の用紙(コピー可)を使用
- 募集締切：令和6年9月24日(火)〔当日消印有効〕
- 応募料：無料
- 応募先：〒799-2415 松山市猿川甲1017 池谷三和子方 県民総合文化祭川柳大会ジュニア係あて(TEL 089-996-0331)
- 問合せ先：〒791-8055 松山清住2丁目1162-22 大前尚道方(TEL 089-952-6774)

【短歌大会】令和6年11月10日(日)

- 応募数：二首一組、自作未発表のものに限る
- 応募方法：参加申込書(コピー可)または官製はがきに、作品・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・大会当日の出欠・所属結社等がある場合はその名称・学生・生徒の場合は学校名・学年を明記
- 募集締切：令和6年8月20日(木)〔当日消印有効〕
※高校生以下は9月10日(火)〔必着〕
- 出詠料：二首一組3,000円(ただし学生・生徒は無料) 郵便小為替同封
- 応募先：〒799-2115 今治市中堀1-5-15 檜垣由美子方 愛媛歌人クラブ事務局あて(TEL 090-8972-5792)

【連句大会】令和6年11月23日(土・祝)

- 応募方法：形式は半歌仙。(初めて応募される方は御相談に乘ります。) 指定用紙に限る。(用紙請求は下記へ。コピー可) 脇起し、独吟は不可。令和5年9月1日以降、満尾の未発表作品に限る。
- 募集期間：令和6年8月31日(土)
- 応募料：選考資料作成費として1巻につき500円。(郵便小為替同封。当日持参も可。ただし学生・初めて応募される方は無料)
- 応募先：〒791-0243 松山市平井町甲2169-43 二神重則宛
e-mail: westengehen@tempo.ocn.ne.jp
(ワード(word)での用紙請求はこちらへ)
- 問合せ先：〒791-0113 松山市白水台2丁目7-13
TEL・FAX 089-923-9663 岡田方(用紙請求可)

【現代詩大会】令和6年11月23日(土・祝)

- テーマ：自由作品(※テーマは設定していません。)
- 応募数：一人1篇(未発表の作品に限る。)
- 応募作品：20文字×40行以内(400字詰め原稿用紙2枚、ワープロ原稿可)
- 応募方法：住所(郵便番号を含む)、氏名、電話番号を明記
- 募集締切：令和6年9月30日(月)〔当日消印有効〕
- 応募料：5,000円(作品集作成費。ただし中学・高校生は無料) 銀行振込または現金書留
- 作品集：応募作品は「2024愛媛詩集」として作品集を作成し、大会で配布。(※中学・高校生の作品については、編集委員の選考により無料掲載)
- 応募先：〒790-0855 松山市持田町1-2-31 森原直子方 愛媛詩話会事務局あて(TEL 089-931-1931)

【漢詩大会】令和6年11月23日(土・祝)

- 投稿詩：七言絶句に限る
(課題) ①豫州の名勝又は先哲篇、②大会所感、③小原六六庵先生を讀う、④自由題
- 投稿締切：令和6年8月30日(金) 厳守
- 投稿料：1首につき1,000円
- 投稿・問合せ先：〒791-8004 松山市鶴川二丁目16-22 愛媛漢詩連盟事務局局長 片岡竹杖 宛(TEL 089-979-1224)

今回で37回目を迎える秋恒例の県民総合文化祭は、芸術文化から産業分野まで幅広い分野のアマチュア文化の祭典として、10月から12月の間、県内各地で開催いたします。

今年度のテーマ『継承と創造 文化がつなぐ時』には、「文化は、様々な困難な時代にあっても、歴史や伝統を継承しながら新たな創造を行うための礎として、また、人生を豊かにするための存在としての役割を担ってきました。AIの進化など社会は急速な変化を続け、少子高齢化や物価高騰、不安定な国際情勢など、先行きの見えない不安が渦巻く今こそ、“人間らしさ”の象徴である文化が過去と未来をつなぐ架け橋になり、県民の心の支えになるような存在になってほしい」という希望が込められています。

県民総合文化祭を通じて、多くの皆様へ文化の素晴らしさを体感いただける企画を実施してまいりますので、是非御期待ください。

なお、各事業の詳しい開催日程や内容などは、9月に発行予定の県民総合文化祭「総合プログラム」又は愛媛県文化振興課のホームページ等で御確認ください。

★開催日程(予定)★

開催日	イベント名	場 所
10/5(土)	オープニングイベント	えひめこどもの城(多目的ホール)
10/10(木)	障がい者芸術文化祭 “愛顔ひろがる えひめの障がい者アート展”〈10(木)～20(日)〉	愛媛県美術館
10/26(土)	総合フェスティバル いけばな展〈26(土)、27(日)〉	県民文化会館(メインホール) 県民文化会館(県民プラザ)
10/27(日)	合唱公演 川柳大会	県民文化会館(サブホール) 県民文化会館(真珠の間)
11/3(日・祝)	将棋大会 囲碁大会	県民文化会館(別館) 県民文化会館(真珠の間)
11/4(月・振休)	バレエ公演 俳句大会	県民文化会館(サブホール) 県民文化会館(真珠の間)
11/9(土)	茶会〈9(土)、10(日)、16(土)、17(日)〉	県生活文化センター
11/10(日)	演劇公演	内子町共生館(共生館ホール)
	吹奏楽公演	県民文化会館(メインホール)
	邦楽・邦舞公演 短歌大会	県民文化会館(サブホール) 県民文化会館(真珠の間)
11/14(木)	高等学校総合文化祭 〈14(木)～17(日)〉	県民文化会館 ほか
11/16(土)	障がい者芸術文化祭 “愛顔ひろがる えひめのアート広場”	大街道商店街
11/17(日)	ジャズ公演	久万高原町産業文化会館
11/23(土・祝)	連句大会	県民文化会館(本館5、7会議室)
	現代詩大会	県民文化会館(別館11会議室)
	漢詩大会	タオル美術館(ミニシアター)
11/24(日)	えひめ・まつやま産業まつり 〈23(土・祝)、24(日)〉	松山市城山公園
11/24(日)	モダンダンス公演	松前総合文化センター(広域学習ホール)
11/30(土)	えひめ生涯学習“夢”まつり 〈11/30(土)、12/1(日)〉	県民文化会館(県民プラザほか)
12/1(日)	子ども伝統文化フェスタ	県民文化会館(サブホールほか)
	秋季県展 ○前期〈12/1(日)～12/8(日)〉 洋画・版画・写真・デザイン ○後期〈12/15(日)～12/22(日)〉 日本画・彫刻・工芸・書道	愛媛県美術館

今年のみどころ

オープニングイベント

- 10月5日(土) 14:00～16:00
- えひめこどもの城 多目的ホール

県民総合文化祭のオープニングを飾るイベントです。今年は会場を県民文化会館からえひめこどもの城に移し、総合プログラム表紙原画デザイン表彰式のほか、文化協会会員団体による展示・体験ブースや舞台発表、高校生によるマーチングバンド演奏など、来園者も楽しめるような体験型のプログラムでお送りします。

また、県文祭応援サポーターとして、瀬戸内を拠点とするアイドルグループ「STU48」のメンバーが今年も出演し、県民総合文化祭の開幕宣言や子ども向けワークショップなどを行います。

総合フェスティバル

- 10月26日(土) 14:00～16:30(開場13:15)
- 県民文化会館 メインホール

第一線で活躍するアーティストが一堂に会し、音楽・舞台芸術を堪能できる、県民総合文化祭のメインイベントです。今年度の県民総合文化祭のテーマ「継承と創造 文化がつなぐ時」のもと、様々な世代の人たちが多彩な文化を披露します。本県ゆかりの著名アーティストたちによる津軽三味線・チェロ・クラシックバレエのジョイントパフォーマンスや、文化協会会員団体(愛媛県合唱連盟加盟団体、えひめジャズネットワーク)と高校生との共演など、プロとアマチュア、大人と高校生のコラボレーションにより創造の芸術を実現するほか、東京藝術大学出身のパーカッションデュオ「カメハ」による演奏や、プロの太鼓奏者やバイオリン奏者による高校生への指導により、次代を担う文化の継承を図ります。また、高校生による八幡浜市の祭り「てやてや」の披露や、映像作品の上映も行います。



さらに、代表曲「千の風になって」でおなじみの、西条市出身のテノール歌手「秋川雅史」によるスペシャルライブのほか、全体合唱によりフィナーレを飾ります。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

＝ 9月18日(水) から入場券の受付を開始します。(抽選) ＝

子ども伝統文化フェスタ

- 12月1日(日) 10:00～16:00
- 県民文化会館 サブホール ほか

子どもたちが、様々な伝統文化・芸能に触れ、そのすばらしさや楽しさを実感することができるイベントです。愛媛の伝統文化・芸能を受け継ぐ子どもたちの舞台発表や展示・実演のほか、県内のプロ奏者による津軽三味線のスペシャルステージも行われます。

また、今年度は「えひめ生涯学習“夢”まつり」との共同開催が予定されているほか、着付け教室や水引ミニリース作り体験ワークショップ、お楽しみ抽選会、アンケートプレゼントなど楽しい催しをたくさん企画しております。



企画公募事業

今年度は、次の3事業が採択されました。

※内容については変更になる場合がございます。問い合わせ先にご確認のうえ、ご参加ください。

愛媛トランペット・カーニバル

県内のトランペッターが一堂に会する愛媛初の演奏会です。今回のために編曲された新アレンジも聴きどころの一つです。映画音楽やクラシックなど、お気軽にお楽しみください。

- 実施主体：愛媛トランペット・カーニバル実行委員会
 - 日時：11月30日(土) 開演14:00 終演15:30
 - 場所：愛媛県生涯学習センター県民小劇場
 - 入場料：中高生以下無料、一般500円
 - 問い合わせ先：愛媛トランペット・カーニバル実行委員会(担当：杉村)
- Email: ehime.trumpet.carnival@gmail.com

まさき作兵衛フェスティバル2024

命を懸けて「種麦」を守り、村を救った愛媛県松前町の偉人、義農作兵衛さんの功績を顕彰するイベントです。合唱や舞踊、楽器演奏、そして朗読ミュージカルなど内容盛りだくさん。入場無料。皆さんお気軽にお越しください。

- 実施主体：義農作兵衛物語実行委員会
- 日時：12月1日(日) 13:30～16:30
- 場所：松前町北公民館
- 入場料：無料
- 問い合わせ先：義農作兵衛物語実行委員会(担当：近藤) TEL: 080-1996-6634

うわじま芸術文化の祭典！牛鬼大作戦！！

多分野の様々な芸術文化を楽しめるイベント！アートストリート、ライブペイント、音楽ライブ、アーティストによるお茶席、アート体験ワークショップなどを実施！自分たちの作った衣装でオリジナル牛鬼ダンスを一緒に踊ろう！！

- 実施主体：みんなだーいすき&宇和島盛り上げ隊
- 日時：10月20日(日) 10:00～17:00
- 場所：宇和島ささいやロード商店街ほか
- 入場料：無料
- 問い合わせ先：みんなだーいすき(担当：新名) TEL: 080-5665-6197

伊予市文化協会 合併20周年を迎えて

伊予市文化協会
会長 松岡 司志

伊予市文化協会は、地域の文化・芸術の振興を目指し、文化のまちづくりに寄与することを目的に、昭和58年に設立され41年を迎えました。平成17年伊予市・中山町・双海町の合併による伊予市のもとで、新しい伊予市文化協会は20周年を迎えます。少子高齢化やライフスタイルの変化などにより会員数は減りつつありますが、現在、82団体979名で文化活動を進めています。

それでは、当協会の活動についてご紹介します。

〔20周年記念フォーラム〕

伊予市文化協会20周年の節目に、記念フォーラムを開催しました。テーマは「伊予市を文化のまちに」。芸能部門・生活部門・歴史文化部門など各部門の役員に、20年の歩みを振り返っての思い出や今抱えている課題について話してもらいました。新しい世代への継承や創造活動、新たなサークルの拡大が求められる中で、会員が抱えている「思い」を語り合える場となりました。

〔豊川渉「思出之記」II発刊記念シンポジウム〕

令和6年6月1日、伊藤博文を歓迎した「彩浜館」で、市教育委員会との共催による発刊記念シンポジウムを開催しました。幕末から昭和初期にかけて、伊予市郡中地区の発展に尽力した郡中町5代目町長の豊川渉。「思出之記」IIは、豊川渉晩年約20年間の手記を翻刻したもので、幕末から日露戦争までの郡中町の近代化の歩みを記した『豊川渉の思出之記』（創風社）に続く明治40年代から大正時代・昭和3

年までの記録となっています。

シンポジウムで豊川氏の足跡を辿りながら、伊予市の歴史を振り返らせることで、歴史文化の振興と保存、未来への継承に繋がっていく機会になったのでは…と思っております。

〔いよし総合文化祭&ふるさとフェスティバル〕

昨年11月、伊予市文化協会の最大のイベントである、「いよし市民総合文化祭&ふるさとフェスティバル」を伊予市と共催のもと、ウエルピア伊予とIYO夢みらい館の2会場で開催しました。2会場での開催は、5年ぶりです。令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、分散開催で実施。令和4年度は通常規模での開催となりましたがIYOみらい館での発表のみでした。昨年度は大変な時期を乗り越えての、念願の2会場での実施となり、延べ1万人を超える市民の参加を得ることができました。年齢関係なく各部門の会員が互いに手を取り合い、支え合いながら終えられたことを嬉しく思います。

今年も11月に文化祭の開催を予定しています。開催に向け、問題点や課題もた



文化祭発表の様子



アートフェスティバル&子ども美術展

くさんありますが、こども美術展・アートフェスティバル、芸能大会・文芸大会、コーラスなど音楽部門の発表、こどもお茶席など、文化芸能や文化活動を身近に感じていただく良い機会となっていますので、ぜひ足をお運びください。

〔終わりに〕

ここ数年で高齢化等により解散や退会・休止に至った団体も多くあり、会員数も減り続けています。これまで育んできた文化の灯りを絶やすことなく、次の世代に継承していくことが、私たちの役目だと思っています。「個性豊かな文化の振興」を目指し、今後も伊予市の魅力を発信できるように、活動を進めていきたいと思います。



『豊川渉の思出之記II』
発刊記念シンポジウム

助成事業を活用しませんか？

愛媛県では、民間財団等が実施するさまざまな助成事業を広く紹介しています。文化活動を行っている団体向けの助成金もありますので、ぜひご活用をご検討ください。

今年度は、地域の伝統文化継承や後継者育成に取り組む団体を支援する公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団から、八幡浜市の赤網代牛鬼保存会に助成金の交付が決定し、5月10日に明治安田生命松山支社で目録の贈呈式が行われました。

同保存会は、南予地方独特の郷土芸能である「牛鬼」の保存・継承に取り組んでおり、毎年、保内町宮内の三島神社の秋祭りで奉納後、町内約9kmもの距離を人力で担いで巡行しています。今回の助成金は、昨年の巡行時に破損した牛鬼の補修に活用されました。

【主な助成事業】

- (公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団
地域の伝統文化維持費用助成
- (公財) 三菱UFJ信託地域文化財団
団体活動助成(音楽・美術・演劇・伝統芸能部門)
地域文化活動助成
- (一財) 冲永文化振興財団
地域文化活動助成
- 伊予銀行
地域文化活動助成制度
- (公財) 愛媛銀行ふるさと振興基金
ふるさと振興助成制度



赤網代牛鬼保存会代表の兵頭さん

「修繕費の工面に困っていたところで今回の助成はありがたい。牛鬼を修繕し、昔と同じように勢いのある元気な牛鬼で祭りを盛り上げ、地域も盛り上げたい。」

助成事業についてお問い合わせは
県文化振興課

(089-947-5480)まで

五・七・五のこころ様

吟行ナゼ
えひめ



松山市姫原 比翼塚の歌碑

天飛ぶ鳥も使ひそ鶴が音の

聞えむ時は我が名問はさね

木梨軽皇子

君が往き日長くなりぬ山たづの

迎へを行かむ待つには待たじ

軽太郎皇女

第19代允恭天皇の皇太子、木梨軽皇子と、衣通姫と言われるほど美しい妹、軽太郎皇女の悲恋が「古事記」に載る。

弟、穴穂皇子との政争に敗れた皇子は伊予に流され、皇女も後を追うが、相まみえることなく没し、姫原の軽之神社に祀られる。

一方、皇女を想いながら亡くなった皇子は、四国中央市の東宮山古墳(妻鳥陵墓参考地)に埋葬されている。

(四国中央市文化協会副会長 森川啓子)

鉄道歴史パーク in S A I J O 四国鉄道文化館からの発信

十河信二記念館 四国鉄道文化館館長 加藤 圭哉

【はじめに】

四国鉄道文化館は、JR予讃線・伊予西条駅に隣接する『鉄道歴史パーク in S A I J O』の施設として、2007年11月にオープンしました。新幹線の父を顕彰する『十河信二記念館』や実物車両を展示する『北館』『南館』、観光案内所を兼ねる『観光交流センター』の4館からなり、四国唯一の本格的な鉄道博物館として、全国や海外からも、たくさんさんの鉄道ファンや子供たちが訪れます。

【十河信二記念館】

愛媛県・新居浜市に生まれ、旧制西条中学を卒業、後に西条市長も務めた、第4代国鉄総裁・十河信二を顕彰する施設です。遺品の展示をはじめ、人となりを、様々な写真やパネルで紹介しています。将来の鉄道の在り方を見つめ、「将来の日本には、絶対高速鉄道が必要だ！」と、世界で初めての高速鉄道（東海道新幹線）建設を推し進めた十河信二の偉業に、触れることが出来ます。

【四国鉄道文化館・北館】

十河信二に最も関係の深い、初代『0系新幹線』の車両が展示されており、客室や運転席に座ることが出来ます。また、十河信二が推し進めた、国鉄の動力近代化を担った『DF50形ディーゼル機関車』の1号機も展示されています。そのほか、四国の鉄道で使用されていた、列車運行を行うための保安装置や鉄道用品なども展示されています。

【四国鉄道文化館・南館】

南館に展示している蒸気機関車は、1975年、北海道で最後まで運転されていたC57形SL5両の内の1両で、十



南館のSLと急行形気動車



南館とフリーゲージトレイン



北館の0系新幹線とDF50

河信二の雅号にちなみ、『春雷号』として、西条市民に親しまれて来ました。また、小型のディーゼル機関車『DE10』1号機や、現存する唯一の『キハ65形気動車』も展示されています。屋外には、『フリーゲージトレイン』の第2次試験車両も展示され、その迫力に圧倒されます。館内には、四国の名所や四季を表わした、大きな『鉄道ジオラマ』があり、四国を走るアンパンマン特急や普通電車、ホビートレインなどが、時間を決めて運転されています。芝生広場や駐

【観光交流センター】

観光交流センターは、西条市の観光案内所も兼ねて、鉄道グッズや、地元特産の土産物売り場があります。館内の一角には、西条市特有の『うちぬき』（自噴水）があり、こんこんと清水が湧き出ており、美味しい水の試飲も出来ます。

【朝ドラ誘致に向けて】

現在、愛媛県・西条市・新居浜市が中心になり、明治・大正・昭和と激動の時代を生き抜いた「十河信二と妻キク」の愛情物語を、NHKの朝ドラにしようと、署名活動を行っています。西条市のホームページから、ネット署名も出来ますので、たくさんの方々にご協力いただければ幸いです。

四国鉄道文化館

西条市大町 798-1 TEL 0897-47-3855
営業時間 / 9:00 ~ 17:00 (最終入館 16:30)
休館日 / 水曜日 (交流センターは無休)

「清水五ツ鹿踊り」の復活と継続

清水五ツ鹿踊り保存会 会長 谷口久雄

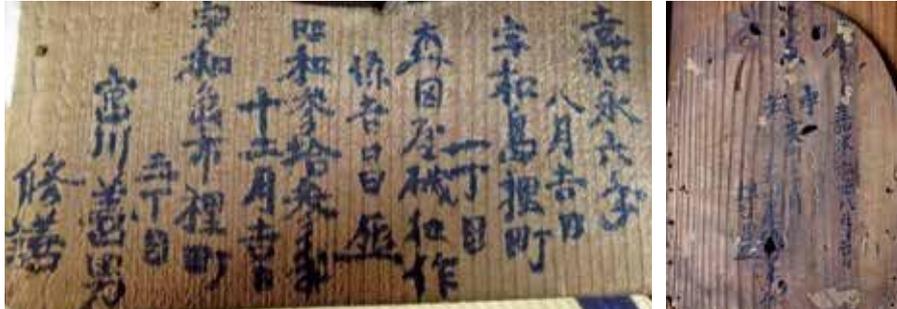
1 南予における鹿踊り

南予地方に伝わる鹿踊りは、仙台藩主伊達政宗の長男秀宗が宇和島藩主となつた折（1615年）に、一の宮と定めた宇和津彦神社祭礼の練り物として、

仙台から伝え、宇和島城下裡町に担当させたものが南予一円に伝播し、現在は八ツ鹿、七ツ鹿、六ツ鹿、五ツ鹿という形で伝承されている。

2 清水の鹿踊りの歴史

清水の鹿踊りは、いつ頃伝わり、誰が伝えたのかということとは分かっていないが、清水地区は旧宇和島藩領であることから、おそらく西暦1700年頃までには伝わっていたものと思われる。ただ、古い鹿の頭の台座に「嘉永六丑八月吉日 宇城裏町 森田屋磯右衛門源



古い鹿面の台座（製作者と、修理者の名前がある）

吉昌」と書かれているものが残っていることから、西暦1853年頃には定着して継承されていたことが分かる。それから170年以上経過していることから、300年以上の歴史があるのではないかと考えている。

江戸時代に仙台から宇和島に伝わった鹿踊りは、仙台藩の八幡町の鹿踊りである可能性が高いと考えられているが、その後、仙台においても、南予各地においても形状が変化したり、「雌鹿かくしの舞」の歌詞を中心にまとめられたりしているものが多いのに対して、清水の五ツ鹿は「お庭褒め唄」としての長唄や、律音階の調べと共に多くの演目が伝えられており、古い形の鹿踊りの面影を残し、現在まで素朴で勇壮な古式を伝える貴重な鹿踊りの一つである。

3 受け継がれてきた活動

清水五ツ鹿踊りは、長い間、清水下組という全戸30戸くらい（現在は17戸）の中で小学生・中学生が踊り、それを組全体が支えるという形で継承してきた。昭和7年には東京三越で1週間にわたり公演を行ったのを始め、西日本民俗芸能大会出演（平成元）、中四国地区（ブロック）民俗芸能大会に3回出演（昭和34、昭和53、平成4）などの活動をしてきた。昭和40年3月29日には、五ツ鹿の中では唯一愛媛県の無形民俗文化財の指定を受け、宇和島市周辺の各地のイベントにも多く参加してきている。

そのような中、昭和40年代後半には「踊り手不足」（当時は男子のみであった）が発生し、活動ができなかったこともあった。その時は、当時の20代〜40代の有志が立ち上がり鹿踊りの継承を行った。さらに、平成10年には組内の女子の参加を認め、平成14年には公民館を通じて組以外の児童生徒にも呼び掛けて協力を得るようにして継承に努力してきた。しかし、平成29年「踊り手不足」は深刻さを増し、とうとう活動停止を決断するに至った。活動を停止した期間「復活」を望む声は地域の中にあつたが現実には厳し

4 新たな「継承」への取組

令和5年、多くの方々の尽力により鬼北町の協力を得て、町の職員を中心に五ツ鹿の踊り手ができた。練習には、指導者からの伝達のみでなく、平成16年に地元CATV（u-c-a-t）の協力で作成していた清水五ツ鹿踊りの記録DVDで映像を確認しながら、五ツ鹿踊り復活への取り組みが始まった。週2日、夜間に2時間の練習を行い、地元のお祭りにて五ツ鹿踊りが奉納できた。地域にとっては久しぶりの五ツ鹿であり反響は大きかった。



令和5年11月 復活した鹿踊り

現在、新たなイベントへの参加を目指して練習を再開している。この復活が一時的なものにならないよう、新たな指導者の育成、踊り手の確保、小学生等への啓発活動など継承のための課題は多い。一方で歴史や記録の整理なども重要である。せっかく伝統文化を大切に考え継承してくれている踊り手の気持ちに応え、新たな指導者として育ててくれるためにも、保存会としてできる努力を続けていきたい。

文化イベント情報

能楽

第40回松山市民能

日時 令和6年11月9日(土)
第一部 10:00~14:00
第二部 14:30~17:00

会場 松山市民会館 小ホール

内容 能楽師・宇高徳成主催の能公演。40回記念として地元松山の能楽師による「高砂」でおめでたく始めます。メインとして伊予の偉人である義農作兵衛が登場する、新作能「義農」を演じます。他に松前町史談会を招いて義農作兵衛について語ります。第一部は松山景雲会会員・愛媛大学の学生・子供教室による、舞囃子・仕舞・連吟などの発表。第一部無料、第二部5,000円

主催 宇高徳成
TEL 090-8385-1063
E-mail udakanorishige@gmail.com



浪曲

第11回浪曲・虎造節 愛媛公演

日時 令和6年9月28日(土)
13:00開演(12:30開場)

会場 松山市民会館 小ホール

内容 浪曲は日本の芸能史の原点となるもので、明治から昭和にかけて150年間、庶民に愛されました。中でも二代目廣澤虎造は、完成度の高から浪曲の代名詞として「虎造節」と呼ばれ「話芸の至宝」と評されています。没後60年を経て今なお多くのファンを持ち続けています。虎造の話芸に挑戦し続けている会員達の練習の成果をお楽しみください!

前売500円、当日1,000円

主催 虎造節保存会
TEL 090-8287-1390



総合

第46回保内文化のつどい

日時 令和6年10月5日(土)~6日(日)
9:00~16:00

会場 八幡浜市文化会館ゆめみかん

内容 保内地域の文化団体の活動成果を発表するとともに、心のふれあいを深め、地域文化の振興を図る。

無料

主催 八幡浜市文化協会・八幡浜市教育委員会
八幡浜市教育委員会生涯学習課内八幡浜市文化協会事務局 TEL 0894-36-3040



第47回保内芸能のつどい

日時 令和6年10月6日(日) 13:00~16:00

会場 八幡浜市文化会館ゆめみかん 大ホール

内容 保内地域における芸能団体の発表会を開催して、文化芸術に親しみ、より一層豊かな市民文化の創造を促進する。

300円

主催 八幡浜市文化協会・八幡浜市教育委員会
八幡浜市教育委員会生涯学習課内八幡浜市文化協会事務局 TEL 0894-36-3040



三曲

第147回芙蓉会演奏会

日時 令和6年10月14日(月・祝) 13:00開演

会場 松山市民会館 小ホール

内容 芙蓉会会員・済美高校琴部・久谷中学校音楽部。小学生からシニアによる箏・三絃・尺八の演奏

無料

主催 生田流箏曲
地唄三絃 芙蓉会
お問合せ 芙蓉会会長 今井藤凡 TEL 090-7145-7024



沢井箏曲院創立45周年記念コンサート [箏の祭典] 四国支部公演

日時 令和6年11月10日(日) 13:00~

会場 松前町総合文化センター 広域学習ホール

内容 現代邦楽の旗手と評され、国内外で活躍した箏曲演奏家・作曲家の沢井忠夫が創立した沢井箏曲院。沢井比河流・沢井麗・沢井箏曲院四国支部会員・愛媛大学医学部邦楽部が総力を挙げて古典から現代曲までを箏・三味線・十七弦・尺八でお届けします。この機会にぜひ日本音楽をお楽しみください。

2,500円(学生1,000円)

主催 沢井箏曲院四国支部
沢井箏曲院四国支部事務局
TEL 090-7149-7933



愛媛県三曲協会 第32回三曲公開講座

日時 令和7年2月2日(日) 13:00~

会場 松山市民会館 小ホール

内容 愛媛県三曲協会では、行事の大切な位置付けの一つとして、一般の三曲愛好者にも研修の場を提供する「三曲公開講座」を開催しています。今回は当道音楽家 菊重精峰師他をお迎えしての、箏・三絃・尺八の講習会です。

会員4,000円、会員外5,000円(予定)

主催 愛媛県三曲協会
愛媛県三曲協会 会長 今井藤凡
TEL 090-7145-7024

バレエ

第54回愛媛バレエ祭

日時 令和7年3月9日(日) 13:30開演

会場 愛媛県民文化会館

内容 愛媛バレエ協会加盟団体12団体によるクラシックバレエの共演。3歳から大人まで出演。各団体から代表によるオープニングで幕開け、各団体がそれぞれオリジナルな作品を上演いたします。

無料

主催 愛媛バレエ協会
愛媛バレエ協会 内田久美子
TEL 090-4789-8358



オペラ

第40回記念四国二期会愛媛支部公演 ~華麗なるオペラガラコンサート~

日時 令和6年11月24日(日) 14:00~16:00

会場 松山市民会館 中ホール

内容 クラシックの演奏会。様々なオペラの名場面を演奏。アリアと重唱で、心に響くオペラの数々を、魅力いっぱいお届けします。

一般・学生前売3,500円(当日4,000円)

主催 四国二期会愛媛支部
TEL 070-5681-3834

美術

松山市民文化祭 第43回美術展

日時 令和6年9月27日(金)~10月1日(火)
9:00~17:00

会場 松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール

内容 松山市居住または通勤・通学している美術愛好家の方々から、洋画・日本画・版画・写真・書・工芸・彫塑・デザインの8部門に約330点の力作が出品され、市民美術の発表と鑑賞の場として開催されます。

無料

主催 松山市文化協会
松山市文化協会事務局 TEL 089-909-8008



第74回新居浜市美術展覧会

日時 令和6年11月1日(金)~10日(日) 9:30~17:00

会場 あかがねミュージアム

内容 書道・日本画・洋画・版画・工芸・写真・デザイン・華道の展示

11月2日(土)
・ロビーコンサート
・ギャラリートーク6部門15分程度
・ナイトミュージアム(17:00~19:30)

無料

主催 新居浜市
新居浜市文化振興課 TEL 0897-65-1554
新居浜文化協会 TEL 0897-36-0874

連句

第22回平和祈願連句大会

日時 令和6年10月20日(日) 13:00~16:30

会場 石手寺境内・新館

内容 愛媛平和連句の碑の建立を記念して開催いたします。連句の「和」の心で会員、参詣の方、当日参加者の方々と親睦を深めつつ、平和につながる長句(五・七・五)と短句(七・七)を交互に付けて連句を巻き上げ、共に平和を祈願いたします。作品は境内に掲示します。皆様の参加をお待ちしております。

無料

主催 愛媛県連句連盟
愛媛県連句連盟事務局 岡田伊勢子
TEL 089-923-9663



第57回やわたはま芸能文化祭



日 時 令和6年11月3日(日・祝) 12:30～16:30
会 場 八幡浜市民文化活動センターコマン忠八ホール
内 容 地域における芸能グループの発表会を開催して、会員相互の心の交流を深め、より一層豊かな市民文化の創造を促進する。
入 場 料 300円
主 催 八幡浜市文化協会・八幡浜市・八幡浜市教育委員会
お 問 合 せ 八幡浜市教育委員会生涯学習課内八幡浜市文化協会事務局 TEL 0894-36-3040

第45回西条市小松文化祭

日 時 令和6年11月9日(土)～10日(日)
会 場 西条市小松公民館
内 容 作品展示：9日9:00～17:00
 10日9:00～16:00
 ジュニア部門舞台発表：9日13:15～15:00
 特別イベント「藤原大征とゆかいな音楽仲間たち」：10日11:00～12:00
 会員舞台発表：10日12:30～15:40(予定)
 地域こども文化体験教室：9日15:10～16:40
 お茶席：9日10:00～15:00
 即売コーナー：9日10:00～15:00
 10日10:00～14:00
入 場 料 無料
主 催 西条市文化協会小松支部
お 問 合 せ 西条市小松公民館 TEL 0898-72-2631

愛南町合併20周年記念 愛南町文化祭



日 時 令和6年11月9日(土)～10日(日)
会 場 開会記念行事 10:00～(予定)
 御荘文化センター ほか
内 容 愛南町文化協会の会員が心を込めて制作した書道、生け花、手芸作品等の展示や合唱、楽器演奏、踊りや民謡等の多彩な舞台発表を行います。今年は愛南町合併20周年の記念行事や大抽選会等の催しも行います！
入 場 料 無料
主 催 愛南町文化協会
お 問 合 せ 愛南町文化協会事務局
 TEL 0895-73-1112

第50回津島町文化祭

日 時 芸能部門(芸能祭)
 令和6年11月10日(日) 13:00～17:00
 展示・生活文化部部門
 令和6年11月22日(金)～24日(日)
 9:00～17:00(最終日は16:30まで)
会 場 宇和島市立岩松公民館
内 容 津島町内の文化団体ならびに小中学生、一般市民が日ごろの文化活動の成果を発表するとともに、市民同士の交流を楽しむ。
入 場 料 無料
主 催 津島町文化祭実行委員会
お 問 合 せ 宇和島市教育委員会教育総務課津島教育係
 TEL 0895-49-7060

第6回四国中央市文化協会文化祭

日 時 前期：令和6年10月26日(土)～27日(日)
 後期：令和6年11月2日(土)～3日(日・祝)
会 場 しこちゅーホール(四国中央市市民文化ホール)
内 容 市文化協会会員の作品展示や芸能発表。文化未来づくり事業として、子どもたちに文化に親しみを持ってもらう体験教室などの実施。
入 場 料 無料
主 催 四国中央市文化協会・四国中央市教育委員会
お 問 合 せ 四国中央市文化協会事務局(四国中央市教育委員会 文化・スポーツ振興課内)
 TEL 0896-28-6043



第76回西条地域秋季市民芸術文化祭

日 時 令和6年10月26日(土)～27日(日)
会 場 西条市総合文化会館、五百亀記念館
内 容 芸能祭：26日13:00～・27日10:00～(予定)
 美術展：26日10:00～17:00
 27日10:00～16:00
 (五百亀記念館は9:00～)
 お茶席：26日10:00～・27日10:00～(予定)
入 場 料 無料
主 催 西条市文化協会西条支部
お 問 合 せ 西条市文化協会西条支部事務局
 TEL 0897-52-1628

第69回秋の芸術祭



日 時 令和6年10月27日(日)・11月2日(土)・
 11月3日(日・祝) 13:00～16:00
会 場 新居浜市民文化センター 大ホール
内 容 芸能発表会
入 場 料 5枚綴り300円、当日券100円
主 催 新居浜文化協会
お 問 合 せ 新居浜文化協会 TEL 0897-36-0874

秋季生活文化部展示会



日 時 令和6年11月2日(土)～3日(日・祝)
 10:00～17:00(予定)
会 場 松山市総合コミュニティセンター
 コミュニティプラザ
内 容 松山市文化協会の生活文化部の会員により、バラ、つばき、山野草、帯結び、拓本や水石の展示会を行います。
入 場 料 無料
主 催 松山市文化協会
お 問 合 せ 松山市文化協会 TEL 089-909-8008

第43回東予地域文化祭

日 時 令和6年11月2日(土)～3日(日・祝)
会 場 西条市中央公民館・西条市東予体育館
内 容 芸能発表：2日10:00～
 お茶席：2日10:00～15:00
 バザー：2日10:00～15:00
 美術展、生花展、小中学校児童生徒作品展、
 「私たちが住みたい街・家」絵画展：
 2日10:00～17:00・3日10:00～15:00
入 場 料 無料
主 催 西条市文化協会東予支部
お 問 合 せ 西条市文化協会東予支部事務局
 TEL 0897-52-1628

第52回吉田町芸能祭 第51回吉田町文化祭

日 時 芸能祭：令和6年10月6日(日) 13:00開演
 文化祭：令和6年11月3日(日・祝) 8:30～17:00
 4日(月) 8:30～16:00
会 場 吉田公民館
内 容 芸能祭：吹奏楽、声楽、琴演奏、民舞、吟詠・
 詩舞、日舞、民謡、和太鼓、ウクレレ演奏等
 文化祭：書道展、写真展、絵画展、生花展、
 陶芸展、俳句・短歌展、寒蘭展、
 老人クラブ作品展、婦人会手作り
 作品展、フラワーデザイン展ほか
入 場 料 無料
主 催 吉田町文化祭・芸能祭実行委員会
お 問 合 せ 宇和島市教育委員会教育総務課吉田教育係
 TEL 0895-49-7098

第19回宇和島市総合文化祭「俳句大会」

日 時 令和6年10月12日(土) 13:30～
会 場 さきいや広場市民ギャラリー
内 容 宇和島市内で活動されている方から投句を募集し、当日参加者が秀作を選び高得点句から市長賞等を決定し表彰する。作品についての講評も行う。
入 場 料 500円
主 催 宇和島俳句協会
お 問 合 せ 宇和島俳句協会

令和6年度美沼の里文化まつり

日 時 令和6年10月12日(土)～13日(日)
内 容 発表部門 12日 13:00～
 展示部門 12日 9:00～17:00
 13日 9:00～15:00
会 場 コスモスホール三間
内 容 芸能祭部門では、楽器演奏やコーラス等に日々取り組んでいる各種芸能団体がその成果を発表する。展示部門では住民・文化団体・小学校・認定こども園および地元高校文化祭とも協力し、絵画・俳句・華道・書道など様々な作品を展示する。
入 場 料 無料
主 催 美沼の里文化まつり実行委員会
お 問 合 せ 宇和島市教育委員会教育総務課三間教育係
 TEL 0895-49-7104

第66回宇和島市民文化祭

日 時 令和6年10月19日(土)～12月1日(日)・
 令和7年1月23日(木)
会 場 時間は各プログラムによる
 宇和島市生涯学習センター(パフィオウ
 わじま)、宇和島市立コスモスホール三間
内 容 ほか市内各会場
 宇和島市内の文化団体などが、日頃の活動の成果を発表します。
入 場 料 無料
主 催 宇和島市民文化祭実施委員会
お 問 合 せ 宇和島市民文化祭実施委員会事務局
 (宇和島市教育委員会文化・スポーツ課)
 TEL 0895-24-1111(内線2731)

松山市民文化祭 第43回芸術祭 「伝統芸能と現代芸能の祭典」



日 時 令和6年10月20日(日)・27日(日)
 10:00～18:00
会 場 松山市民会館 大ホール
内 容 松山市文化協会会員の自主的な企画運営のもと、邦舞・洋舞・音楽等の発表を行います。
入 場 料 無料
主 催 松山市文化協会
お 問 合 せ 松山市文化協会事務局
 TEL 089-909-8008

筆のつまみ

(題字 藤岡抱玉)

道後温泉本館修理と文化の力

道後温泉旅館協同組合理事長 奥村敏仁



去る七月十一日、道後温泉本館は五年半におよぶ保存修理工事を終え全館で営業を再開しました。工事期間中の関係者の皆様のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。道後温泉本館は今から百三十年前、道後湯之町の初代町長伊佐庭知矢翁が湯量に限りがある道後温泉が生き残るためには人々があつと驚くような施設が必要だと考え現在の金額で四十億円(当時の町財政の二十年分にあたる)投資を行い建設しました。おかげで百年を超える間、道後温泉は栄えることができました。

一方、道後温泉本館は木造建築の入浴施設であり建築百年を超え根本的な改修を行う必要が出てきました。修理の検討が始まりましたがシンクタンクの試算では修理中の経済損失は五百億円にのぼり道後での旅館経営は成り立たなくなるのではと懸念されました。

実際はコロナ禍の期間を除けば道後温泉地域はこの修理中大きくお客様を減らすことなくさらには重要な観光資源の修理中にもかかわらず有力な業界紙の温泉地ランキングで二年連続で第三位になることができました。実はこの奇跡とも思える結果に文化・アートの力が貢献しています。「道後オンセナート」が道後温泉本館百二十年を記念し初めて開催されたのは二〇一四年です。地元でも温泉とアートがどう結びつくのかという議論もある中のスタートでしたが様々なアーティストの作品が展示された旅館には今までは来られなかった層のお客様が訪れ新しい観光を切り開く可能性が感じられる取り組みとなりました。その後の流れを決定づけたのが翌二〇一五年に行われた蜷川実花さんのコラボレーションでした。道後温泉本館の手すりに蜷川さんのカラフルな写真を展示した他、大きな花の写真を大胆にデザインした色浴衣の貸し出しを行うと浴衣を着た女性たちは道後の町で写真を撮りSNSでどんどん発信しました。道後温泉が旅行サイトの「女性の一人旅人気第一位」に五年連続選ばれる布石となりました。全国的にも評判となった修理期間中の本館を覆う工事幕へのアート展開も一連の流れに位置づけられます。まさに文化の力のおかげと思っています。

伊佐庭知矢翁は松山城を公園とすることで廃城から守ったり、荒れ放題であった湯築城を道後公園として整備したりもされました。この文化を守り活かす道後の伝統を今後も続けていきたいと思っています。

このコーナーでは、読者の皆様からいただいた投稿を随時掲載して参ります。原稿は、400〜600文字で作成いただき、住所・氏名・所属団体名・電話番号・ペンネーム(ペンネームで投稿する場合は、明記のうえ、本ページ下に掲載しております)を必ず県文化協会事務局まで郵送してください。皆様の声をお待ちしております。

受賞のご紹介

石山竹揚氏(東温市)が令和5年度「愛媛県発足記念日知事表彰」を受賞されました。

石山竹揚氏は、愛媛漢詩連盟六六庵吟社の事務局長などを経て、平成30年より愛媛漢詩連盟の会長を務められ、長年に渡り、組織の運営に尽力されるところに、県民総合文化祭の漢詩大会では自ら講師を務めるなど、県内における漢詩文化の普及・発展に貢献されました。

愛媛漢詩連盟は、各漢詩吟社の交流、作品発表の場を提供するとともに、県民総合文化祭の漢詩大会では吟詠詩舞家の協力を得て、漢詩の内容を分かりやすく発表するなど、県民が漢詩に親しめる機会を提供し、愛媛県の芸術文化振興に貢献されています。

賛助会員の募集

愛媛県文化協会では、愛媛の文化活動並びに当協会を側面から支援してくださる企業・個人の賛助会員(一口1万円)を募集しています。愛媛文化の将来を担う人づくりと、文化を生かした地域活性化のため、1人でも多くの方々に応援いただけるよう、積極的な呼びかけを行っております。会員の皆様も、お住まいの地域で応援いただける方への呼びかけ等に御協力ください。

- 特典
- 1 機関紙「文化協会えひめ」の送付(年2回発行)
- 2 機関紙への賛助会員名簿の掲載(年1回)
- 3 県民総合文化祭事業への招待
- 4 その他愛媛県文化協会主催行事ほか関係情報の提供

賛助会員の紹介 (五十音順)

賛助会員名	所在地
(株)あいテレビ	松山市竹原町 1-5-25
アマノ印刷(有)	松山市東石井 1-10-30
安藤工業(株)	西条市三津屋 190-1
(株)今治国際ホテル	今治市旭町 2-3-4
(株)伊予銀行	松山市南堀端町 1
(株)ウイン	松山市二番町 3-6-5
(株)エス・ピー・シー	松山市湊町 7-3-5
(株)愛媛銀行	松山市勝山町 2-1
(株)愛媛新聞社	松山市大手町 1-12-1
愛媛信用金庫	松山市二番町 4-2-11
岡田印刷(株)	松山市湊町 7-1-8
(有)三予商会	松山市花園町 5-2
四国ガス(株)	今治市南大門町 2-2-4
セキ(株)	松山市湊町 7-7-1
タオル美術館(一広(株))	今治市朝倉上甲 2930
第一印刷(株)	今治市喜田村 1-6-40
大王製紙(株)	四国中央市三島紙屋町 2-60
(株)テレビ愛媛	松山市真砂町 119
道後温泉旅館協同組合	松山市道後湯之町 6-8
南海放送(株)	松山市本町 1-1-1
(株)ハラプレックス	今治市喜田村 1-2-1
(有)三浦屋文具店	松山市湊町 3-8-9
(株)八木記章	松山市木屋町 2-8-21

編集委員

委員長 森原直子(松山市文化協会)
副委員長 藤岡抱玉(愛媛県美術会)
名本敦子(愛媛県連句連盟)
森川啓子(四国中央市文化協会)
末光勝幸(伊方町文化協会)

編集後記

今年度も機関紙編集を担当することになりました。今回も私が暮らしていた中米の小国でのお話の一つさせていただきます。中米の文化と言えば、音楽と踊りです。町を歩けば、どこからでもサルサやクンビアといった音楽を耳にし、ホームパーティーに呼ばれば自然とダンスパーティーとなります。現地の方と溶け込めるように、サルサ教室に通って必死にステップを覚えたのはいい思い出です。相手の文化を知るとは、言葉が話すよりも大切なコミュニケーションツールになると学んだ中米生活でした。(乙)

お問い合わせ

〒790-8570
愛媛県観光スポーツ文化局文化局
文化振興課内 愛媛県文化協会事務局
TEL 089-947-5480
FAX 089-913-2617



▲機関紙電子版